



地域おこし協力隊活動レポート



地域おこし協力隊とは、大都市圏に住んでいた方が、地方に移住し、地域の活性化を図るとともにその地での自立定住を目指す取り組みです。協力隊員の紹介、活動内容等をご紹介します。

vol.18 (担当) ^{きたざき}北崎 ^{あやこ}史子さん

長瀬町のみなさん、こんにちは！ひよっこ移住者・地域おこし協力隊の北崎です。昨年も暑かったけれど今年はもっともっと暑い長瀬の夏を感じながら日々、長瀬暮らしを楽しんでいます。

実は先日初めて、わたしの地元広島から両親が遊びに来ていました。数日間かけて長瀬を案内しながら、長瀬は川も山もあり自然豊かで美しい町だなーと改めて実感しました。まだまだわたしは移住して2年目ですが、自分の中で少しずつ当たり前になりかけているこの風景や暮らしのありがたさを再度感じるきっかけになりました。



最近では移住者同士の交流を持つ機会が増え、他地域も含め同世代のコミュニティの広がりを実感しています。交流会などを積極的に設け、仲間と一緒に商品開発やスペース作りを進めたいと考えています。今は、お菓子やパン作りにとっても興味があるので長瀬内でいつか店舗販売ができればいいなと考えています。

また、空き家や空き物件の利活用もしたいと考えていますので、町の中で何か情報などをお持ちの方がいらっしゃいましたら、教えて頂けると嬉しいです。暑くて熱い長瀬の2年目の夏、思いっきり駆け抜けたいと思っています！



長瀬町^{はたち}二十歳^{つど}の集い実行委員の募集

町では、令和5年より成人式を「長瀬町二十歳の集い」に名称を改めて開催します。令和5年長瀬町二十歳の集いの開催に向け、式の企画運営を行う実行委員を募集します。実行委員として、新たな式典の企画運営に参加してみませんか。

対象者：平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの町内在住又は出身者

募集人数：6名程度（男女各3名程度）

式典当日：令和5年1月8日(日)

募集期間：8月1日(月)～8月31日(水)

活動内容：長瀬町二十歳の集いの企画運営

実行委員会を9月～12月に実施（3～5回程度）

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、活動内容・開催日程が変更となる場合があります。

申込み：電話又はメールにて下記事項をお伝えください。

①氏名 ②連絡先電話番号

※メールの場合は、件名を「長瀬町二十歳の集い実行委員希望」としてください。

問合せ 教育委員会生涯学習担当 ☎66・3111 内線305

✉kyoiku@town.nagatoro.saitama.jp

今月のいいとこ長瀬

「長瀬町の 有名なかき氷屋さん がスキ！」

天然氷を使ったかき氷はフワフワで頭がキーンとなりません！
有名人もよく訪れるみたいです。

(R・Yさん)

「編集者コメント」

暑い日には、ヒンヤリとしたかき氷が食べたくなりますよね。長瀬町には天然氷を使ったかき氷を出すお店があり、観光客にも人気となっています。実はこの天然氷は、元々はかき氷のためだけにつくられたわけではなかったことをご存じでしたか？

土地が痩せ、稲作に向かない長瀬町の産業は、古くは養蚕業（蚕を飼育し、その繭から生糸をつくる産業）を中心に発展してきました。例えば、町内にある国指定重要文化財の旧新井家住宅は江戸時代中期に建造され、その広くて風通しの良い構造は、当時の秩父地域にあった養蚕農家の特徴をよく表しています。明治・大正期、町内に3カ所あった氷池で切り出された天然氷は、蚕の卵を冷蔵して孵化の時期を調整し、繭を複数回に分けて収穫するために使われ、繭や生糸の通年生産において大きな役割を果たしていたのです。

こういった歴史的背景を知ったうえでかき氷を食べてみると、また違う味わいが楽しめるかもしれませんね！

かき氷で歴史と土地の味が楽しめるのは、長瀬町のいいとこ！



かき氷



天然氷の切出